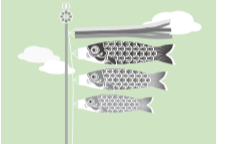




度会町議会だより

- 広報委員
- 委員長 舟瀬勝
 - 副委員長 長谷川多一
 - 委員 貞森義和
 - 委員 中西久博
 - 委員 大野原徳
 - 委員 大西徹



令和3年 第1回定例会 令和3年3月9日～18日

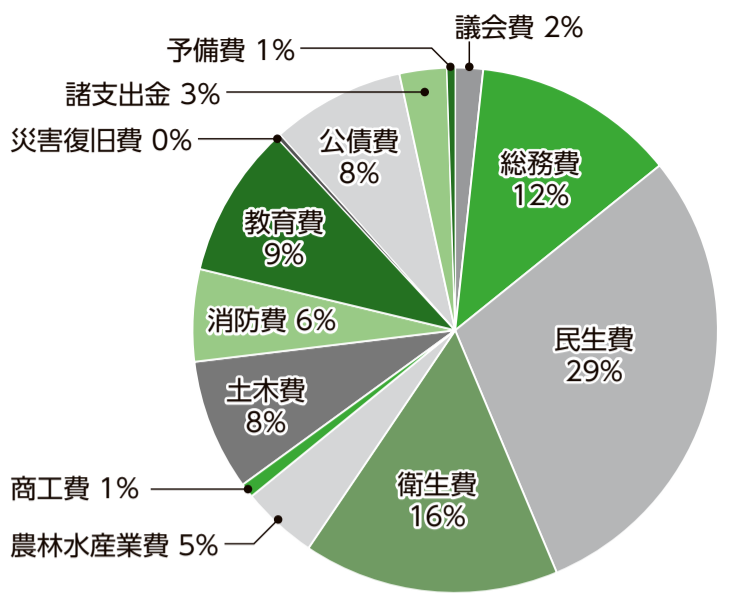
○令和3年度 一般会計当初予算 約39億6,100万円(昨年度比△約1億3,600万円)をふくめ、総額約66億7,800万円が上程され、議決いたしました。

当初予算の概要・目的

今回の予算は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス対策を最優先課題としたうえで、令和3年度からの新たな町の指針である「第7次総合計画」の第一歩として、「人・社会・住環境・にぎわい・体制」づくりを優先した予算となっております。

一般会計 科目別予算内容

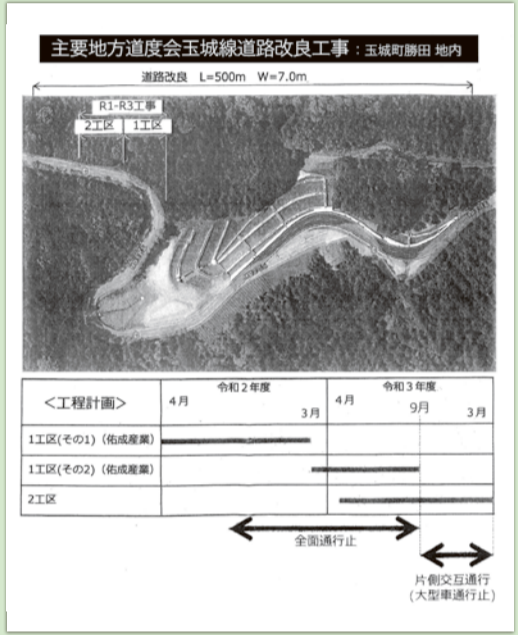
一般会計予算額



視察 3月11日

県道度会玉城線(通称・岩坂)の復旧工事

左図のとおり、本年10月から片側通行が可能となる予定です。



のり面上方から



県による説明



のり面下方から



視察風景

一般質問

貞森義和 議員



○中学生の学校給食を無償に

学校給食の無償を提案したいところだが、小、中、保育所を同時には無理だと思う。

そこでも、中学校から無償には出来ないかと思うが町の考えを伺いたい。



教育長答弁

学校給食につきましては、平成30年9月分から小中学校を、そして令和元年10月から保育所について半額補助をしているところでございます。

このことから、子育て支援施策としての給食費補助が義務教育にとどまらず幼、小、中と一貫した給食費約半額補助制度が実現しております。

ご指摘の、無償化につきましては、「子供たちの未来を思う気持ち」、「子育てを支援したい気持ち」は貞森議員さんと同じであります。

しかしながら、限りある財源の中、教育環境の整備、充実など子供たちへの直接的な施策に力を注いでまいりたいことから、幼、小、中一貫した半額補助制度を継続・維持していきたいと考えております。

○新型コロナウイルス対策(PCR検査を希望者に受けさせる努力を)

新型コロナウイルス対策として、一番大切なことはPCR検査を希望者に実施することだと思っております。

町民の期待に応えるため検査機器を購入して、各地区をまわって実施するよう手立てを。

町長答弁

令和2年9月定例会でもお答えさせていただいた

たように、今のところ町で購入することは考えておりません。PCR検査につきましては、機器の購入だけでなく、その機器を操作する人員、また、購入する機器の性能により、どの程度信頼できるのか、その結果による診断をどう取り扱うのか等様々な課題がございます。

ご質問の機器購入及び各地区を巡回してのPCR検査の実施については、町の財政、取り扱う職員の体制などを総合的に判断し、今のところ実施する予定はございませんのでご理解賜りますようお願いいたします。

なお、役場や保育所、学校などで拡散する恐れが発生した場合に住民サービスの低下を最小限に抑えるためPCR検査キットを保持していることを申し添え答弁とさせていただきます。

若宮 淳也 議員



○度会町の子どもたちへのスポーツ支援の拡充について

度会町では小学校のソフトボールチームがアベックで全国大会、度会中学校では女子ソフトボール部は東海大会に出場を決め、相撲でも度会中学校の生徒が全国大会に出場しました。また、度会スポーツクラブの軟式野球からプロ傘下のチームに選ばれるなど、明るいニュースが多く入ってきています。度会町では度会スポーツクラブをはじめ、小中学生の様々なスポーツを支援していただいておりますが、各団体に十分な支援が行き届く手立てを度会スポーツクラブとも相談しながら、今後も検討いただきたいと思います。

とりわけ、地域や県を代表して出場する全国大会等は移動や食事、宿泊などで多額の経費も発生し、少子化で部員も少なく、保護者・指導者などの経済的な負担も大きくなってきています。全国大会など

に出場するチームや選手に対しては更なる支援を
していくことが子どもたちの成長、度会町の発展
につながると思います。度会町
の子どもたちへのスポーツ支援
の拡充について、どのようにお
考えかお伺いします。



町長答弁

現在、コロナ禍のなかとはいえ、オリンピック
ク・パラリンピック、さらに三重とこわか国体が
次年度開催される予定となっております。国・県と
も準備が進められているところであります。今年
は、かつてないスポーツの年となっております。今年
が、度会町でも、「三重とこわか国体」デモンス
トレーション競技「ウォークラリー大会in度会
町」として国体行事の先陣を切って開催を予定し
ているところであります。そこで、度会町では
様々なスポーツ振興が図られているところです
が、スポーツ活動を通じた青少年健全育成の母体
として、平成23年に「度会スポーツクラブ」を設
立しました。そして、現在、このクラブが中心と
なり、各種目団体に様々な支援を行っております。
度会スポーツクラブ会員数は現在280名
で、13団体が活動を行っておりますが、当クラ
ブの活動資金は町補助金が主なものとなっております。
り、令和2年度は昨年度から40万円増額の総額
390万円としたところでございます。

次に、大会参加支援であります。補助内容とし
まして、全国大会は2分の1、東海大会は3分
の1となっており、県内トップレベルの支援であ
ると考えております。また、中学校の部活動にお
きまして、全国大会出場は全額補助、遠征試合
等への交通費も含め、様々な支援策を実施し、学
校スポーツの競技力向上のための方策を講じてお
ります。

全国大会での輝かしいスポーツによる活躍や子

どもたちの健全な発達に結びつく大きな力として、
幼少期に家族や地域の人たちとの経験が生きていく
と思えます。スポーツ関係団体や関係者並びにそれ
ぞれの地域の皆様方のご理解・ご支援をお願いいた
しまして、答弁とさせていただきます。

長谷川 多一 議員



○特徴ある小・中学校の
教育体制について

これから社会に出ていく子供たちにとって、英語
力とコンピュータに関する知識が必須ではないか
と考えます。そこで、この度、配布したタブレット
端末を有効活用し、小・中一貫したプログラミング
の知識を身に付けさせる教育が必要かと思われま
す。

また、この教育を他校に先駆けて行うことで当町
の小・中学校を特徴ある学校と位置付けることによ
り、2次効果として、入学希望者が増加につな
がり、人口減少の歯止めの一助にもなるのではない
かと考えております。

このような事から、今後の小・中学校に対する町
長・教育長のお考えをお伺いします。

町長答弁

次年度からの「第七次総合計画」を策定するにあ
たって、長期的な視点で目指すべき町の将来像及び
実現のための指標を示させていただきました。その
中で、重点プロジェクトとして「未来へつなごう
子育て」を掲げ、「幼少期からの英語スタートアッ
プ事業」「GIGAスクール構想を活用した新しい
教育活動の推進」を図っていくこととしています。
そして、国際化・グローバル社会を見据え、早い段
階から英語や国際文化に触れる機会をつくること
で、子どもたちの興味・関心、コミュニケーション
力を高め、就学後の主体的な学びへつなげていき
たいと考えています。

また、プログラミング教育を含めたICT教育
は今後重要な位置を占めていくと考えています。
今年配布したタブレットに併せて各教室に電子
黒板等も導入してICT環境を積極的に取り入れ
ることによって、教育機器としてのツールが広が
り子どもたちが主体的に、創造性をはぐくみ、教
育の町度会町へと可能性を広げ、魅力あるまちづ
くりとして期待をしています。

教育長答弁

タブレットなど情報通信技術を教育現場で活用
する「ICT教育」の目的は大きく二つ挙げられる
と認識しています。一つは学力を育成するため
に分かりやすい事業実現のツールとして効果的に使用
すること。もう一つは、インターネット環境から
知り得た知識や情報を主体的に選び活用できる能力
や想像力の育成が急がれていると考えます。

今後度会の学校では、先進的教育機器を積極
的に取り入れることによって、教育環境が広が
り、子どもたちが主体的で、創造性に満ちた教育
の町として、魅力あふれるまちづくりに努めてい
きたいと思えます。

○高齢者が生き生きと暮らせる
度会町について

前回、町長からすでに、現在の「おたすけ隊」
活動を充実したうえで、将来的には、センター設
立を検討したいとの回答をいただいております。こ
の第七次度会町総合計画に
も明記されたことから、早急
な設立について町長のお考え
をお伺いします。



町長答弁

他町の視察や社会福祉協議会と協議し設立に向
けて協議し三重県シルバー人材センターへも意見
の照会を行ってまいりました。シルバー人材セン

ター設立については、おたすけ隊を運営する社会福
祉協議会と連携し国から補助をうけるために独立
した一般社団法人の設立を検討していきたいと考
えております。

しかしながら、法人運営には担い手確保や民営
事業者との調整も考えていかなければなりません。
さらには設立運営には町からの支援が必要とな
ります。健全な運営継続のためにも慎重に制度
設計を行う必要性があります。そのために、さま
ざまな課題を解決し「第七次度会町総合計画」期
間内の設立を目指し進めてまいります。

トピックス!
度会町内の
バス移動が便利に
なりました!



町内何処でも100円で乗れます!

※利用券を使うと、三重交通のバスも100円で
利用できます。

バス停が近くなりました!

※町営バスは、いままですで遠かったバス停を近くに
してくれました。

町営バスは、次のように各ルート1回/週の運行
ですが、三重交通バスも利用できるため、組み合わせ
て使えば大変便利だと思います。

- ・宮川ルート …… 毎週月曜日(2往復)
- ・川南ルート …… 毎週火曜日(2往復)
- ・一之瀬川ルート …… 毎週金曜日(2往復)

以上のように、4月1日からは、今までと比べ
て、大変便利になったと思いますので、週に一度
は、買い物などに出かけてみませんか?

*詳しくは、広報度会3月・4月号をご確認ください。